

8J3SEA 開局

SEANET 2006 OSAKA を記念する特別コールサイン 8J3SEA が 7 月 15 日免許となり、開局しました。

7 月 14 日のクラブ例会の前半を利用して開局式を行いました。

8J3SEA は固定局と移動局で大阪国際交流センターを設置場所・常置場所として免許されています。

固定局は 7 月 15 日 JA3PYC/山本さんのオペレーションで、また移動局は JA3AER/荒川さんの指揮のもと大阪狭山市移動で、それぞれ運用を開始しました。



8J3SEA/3 運用記

JA3AER, 荒川泰蔵

SEANET コンベンション 2006 の特別局として免許された 8J3SEA の開局式を、7 月 14 日に大阪国際交流センター内にある J13ZAG 局で済ませ、その移動局の免許状をもって、翌 15 日から大阪狭山市へ移動して運用を開始した。コールサインは 8J3SEA/3 で、大阪狭山市民会館(さやかホール)にある大阪狭山アマチュア無線クラブの無線室を借りて 22 日までの運用であった。さやかホールの開館時間が午前 9 時から午後 9 時まで、火曜日は休館という条件の中で実質 7 日間の運用であったが、無線クラブのメンバーの協力を得て延べ 1517 局と QSO、大いに SEANET コンベンションの PR が出来た。この移動局は 23 日から 8J3SEA/1 として運用され、その後も 9 月のコンベンション終了まで、全国各地を巡回して運用されることになっている。

運用に当たっては SEANET コンベンションの PR と、それへの参加を呼びかけるように努めたが、時には多くの局から呼ばれて次から次へと QSO せざるを得なかった。特に 17 日の「海の日」の祭日には 7MHz でパイルアップに見舞われ、嬉しい悲鳴の中でエリア指定でコールする、まるで DX ペディション並みのパイル捌きを余儀なくされたこともあった。大量の QSO のログのハムログへの入力を懸念していたが、メンバーの JA3AIC 篠原さんと JA3UJR 中裕さんがほとんどの入力を引き受けてくれたので、比較的早期にその作業を終了し、大阪狭山市への移動運用の総てを終了し、交信データを QSL マネージャーである JA3PYC 山本さんに送ることが出来た。

今回の運用に協力頂いた大阪狭山アマチュア無線クラブ(会長 JE3ODE 西田さん)の皆さん、特に上記のハムログへの入力を助けてくれたお二人、運用の便宜を計ってくれた JH3AAP 氏川さん、連日運用に駆けつけてくれた JH3VNV 鶴久森さんにこの場を借りてお礼申し上げます。



写真1. さやかホール内に設置された大阪狭山アマチュア無線クラブ JK3ZCR のシャック



写真2. さやかホールの屋上に設置されたアンテナ群

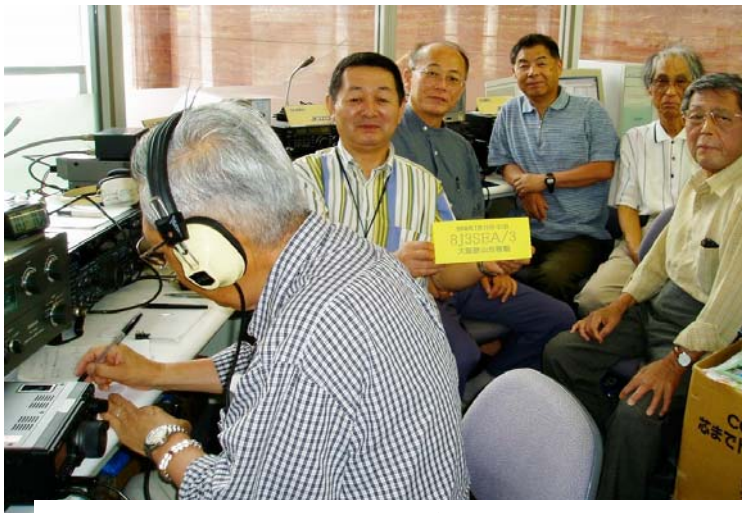


写真3. 8J3SEA/3の運用に協力してくれた大阪狭山アマチュア無線クラブの皆さん



写真4. 8J3SEA/3を運用するJE3ODE 西田さんと筆者(左)

JA3ZAG

大阪国際交流センター・ラジオクラブ
Meeting: 2nd Friday at i-House Osaka
Roll Call : Every Saturday 00:00 UTC
14.155MHz

8J3SEA

固定局 (大阪国際交流センター)
オペレーター募集中
JI3ZAG 会員および SEANET 参加者に限定
JA3PYC/ 山本さん (Tzn2@aol.com) まで